

j29 釉層の厚み不足による釉面のツヤ不足

欠点の外観上の特徴：

釉薬の表面に光沢が出ない状態

検査・試験方法：

白色度測定など

欠点の原因：

釉の濃度不足で釉層が薄く、釉のガラス層の厚みが十分でなかった。

欠点の防止対策：

施釉方法によって釉層の厚みに違いが出る。刷毛塗り、流し掛け、スプレー掛けは釉層が薄くなりやすいのでやや濃い釉を用いる。

施釉前に釉をしっかり攪拌して釉泥漿全体の濃度を均一にする。釉を作ったとき、にがりを打っておくと釉成分の沈殿固化防止になり、施釉時に攪拌しやすくなる。

ボーメ計を使って濃度を管理する（例として染付釉が 40° ～45° など）。

透明釉の釉層の厚みは施釉時で 0.3 ミリから 0.6 ミリ程度が性状の良い釉となりやすい。

その他：